



ヘルスケアデータ活用と健康寿命延伸 ⑩

国際社会経済研究所 (NEC グループ) 主幹研究員

遊間 和子



レベルでは、社会でア

クティブに過すこと

ができない、寝たきり

の生活が長くなるなど

不本意な人生の最期が

イメージされる。国レ

タの活用である。どの

ベルで考えれば、医療

や介護に費用のかかる

期間が増大することに

なる。健康増進、疾病

・介護予防などによつ

健康な時から

健康寿命延伸のため

に重要となるのが、健

康・医療・介護分野に

おけるヘルスケアデー

タの活用である。どの

ることも必須である。

日本には、企業におけ

る健康診断の義務化な

配慮などにより、それ

を生かし切れていない

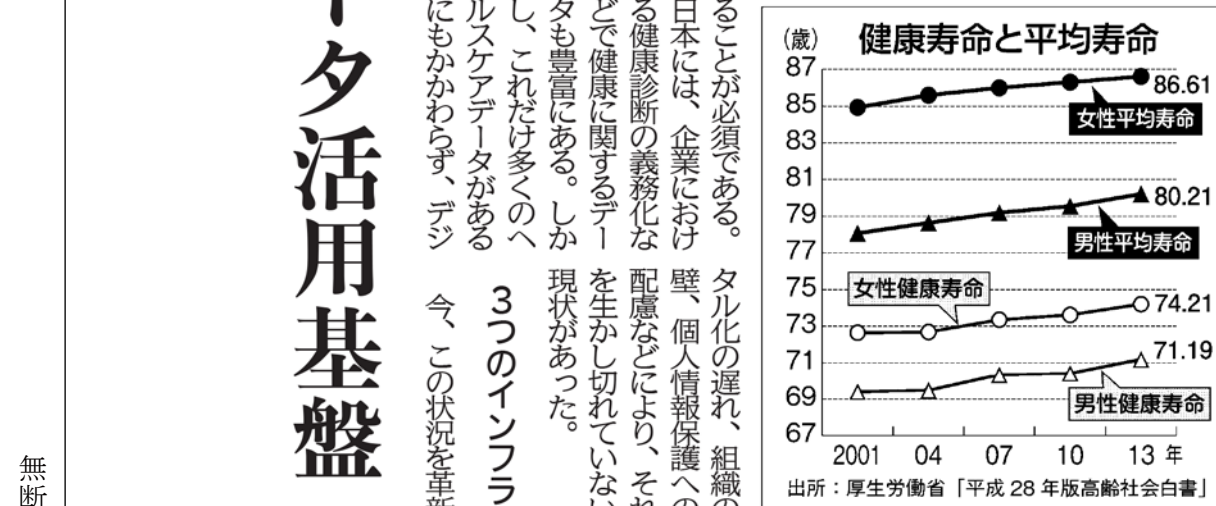
現状があった。

タル化の遅れ、組織の

壁、個人情報保護への

進めるとし、①最新の

エビデンスや診療デー



ICTでデータ活用基盤

3つのインフラ

今、この状況を革新

する動きがでてきてい 統合し、専門職間で共
る。昨年10月、厚生労働省「保健医療分野の
ICT活用推進懇談会」の提言が発表さ 基盤「PEOPLE
れ、ICTの技術革新 (仮称)「③産官学の
を徹底的に取り入れた 多様なニーズに
インフラを整備し、保て、データを目的別に
健康医療分野のデータ活 収集・加工(匿名化
用を進めるという基本 等)・提供する「デー
的な考えが示された。 タ利活用プラットフォーム
三つのインフラ構築を ーム(仮称)」が計画
進めるとし、①最新の され、2020年まで
エビデンスや診療デー に運用開始が予定され
タを人工知能(AI) る。三つのインフラ構
を用いてビッグデー タを迅速に進めるため
分析し、現場の最適な に、今年1月には厚生
診療を支援する「次世 労働省内に「データへ
代型ヘルスマネジメン ルス改革推進本部」も
トシステム(仮称)」 設置され、健康・医療
②個人の健康なときか ・介護の分野横断的な
ら疾病・介護段階まで データ活用が大きく動
の基本的な保健医療デ きたしている。
ータを、その人中心に (金曜日に掲載)

日本は、世界でもト
ップレベルの長寿の国
である。世界保健機
(WHO)「世界保健
統計2016」によれ
ば、男女合わせた平均
寿命は世界第1位とな
っている。平均寿命が
伸びる中で注目されて
いるのが「健康寿命」
である。健康寿命は
「日常生活に制限のな
い期間」のことを指
し、平成28年版高齢社

平均寿命と健康寿命
との差は「不健康な期
間」を意味する。この
差が大きいほど、個人